

富山県 中央植物園だより



フジ *Wisteria floribunda* (マメ科)

日本の固有種で古くから日本人にとって身近な植物でした。平安時代には貴族の間で藤色が珍重され、十二単（じゅうにひとえ）などの色の組合せでは表が薄紫、裏が青または萌黄の配色のことを藤襲（ふぢがさね）といました。

植物写真展 「藤棚の特等席」 撮影 / 竹本 正さん

これ、なーんだ？「アート作品？」



答え：オウソウカの果実

オウソウカはバンレイシ科の植物で、当園では熱帯雨林植物室に植栽展示しています。名前の由来は花柄に鳥の爪のような突起ができることからで、漢字で鶯（鷹）爪花と書きます。「なるほど、おーそうか！」ではなかったんですね。夏に咲く花は芳香があり、香水などに利用されます。果実は人工物のような、あまり他の植物の果実にはない不思議な形をしています。岡本太郎好きの編者は何となく、彼の作品を思い出しました。

Reports イベント報告

第12回新春カトレヤ展

公開講演会の講師としてお招きした兵庫県のラン愛好家、西口進一氏および神戸市立須磨離宮公園のご厚意により、阪神・淡路大震災を経験したリンコレリオカトレヤ・パメラ



「希望のカトレヤ」贈呈式の様子

ザリントン‘コロネーション’の分け株を「希望のカトレヤ」として寄贈いただくことになり、金広慎二園長（左写真中央）と西口氏（同写真右）を招いて1月12日に寄贈式を行いました。今年は

阪神淡路大震災から30年の節目の年であり、能登半島地震からは1月で発生から1年を迎えるにあたり、神戸の被災地から富山および能登半島へ、復興への希望となる

ようにと譲り受けました。寄贈式の時点では惜しくも花は見られませんでした。3月はじめに大輪の花を3輪も咲かせてくれ、皆さんにご覧いただくことができました。

（西村幸芳）



一輪が手のひらぐらいの大きさ！

研究発表展

年に一度、職員による調査・研究の成果を一般の方にご覧いただく機会として研究発表会とポスター展示を開催しています。今年もそれぞれの職員の専門分野を中心に、フィールドで行った調査や展示



胴長を着て栽培の苦勞を熱弁中

をよりよくするための研究など、計9題の発表がありました。大原企画情報課課長補佐によるサクラの発表では、明治41年に牧野富太郎博士が発表し、標本が残されてい

るものの、その後は存在が確認されず幻のサクラと言われていたコヒガンザクラの八重咲品「八重彼岸」を県内で再発見したことが報告され、メディアにも多く取り上げていただきました。発表会の冒頭には園長より、当園が登録博物館に認定されたことが紹介されました。博物館としての役割を果たすため、これからも職員一同励んでいきたいと思

（西村幸芳）



再発見されたサクラ「八重彼岸」

Topic 植物園裏話

18年寝太郎!? オオハマギキョウの開花

オオハマギキョウ *Lobelia boninensis* Koidz. (キキョウ科) は小笠原諸島原産の絶滅危惧種（絶滅危惧Ⅱ類 (VU)）で、“一回結実性植物”です。発芽から何年も花を咲かせずに成長を続け、蓄えた養分を一回の開花で使い切るかのようにたくさんの花を咲かせた後、種子を多数実らせて枯死するとい



ひとつひとつの花は4cmほど

うとても特殊な草生(?)を送ります。このような植物には大型化したものが多く、アフリカ大陸高地にはオオハマギキョウと同属のジャイアントロベリアと称される複数の種が知られ、鹿児島県の

離島トカラ列島で発見したコダチボタンボウフウや、昨年9月から当園で咲いているスノーバナナが属するエンセテ属の植物も同様の生活史を持っています。

オオハマギキョウの自生地では、種子から5～6年ほどで開花するそうですが、今回開花した4個体は播種から18年経て高さ約4mに達し、ようやく開花に至りました。小さい鉢植えであまり肥料を与えないようにしてゆっくりと成長させたため長い年月を要したのだと思われます。今回2cmほどのラグビーボール状に丸く膨らんだ果実から、たくさんの種子を採集できました。種子から育てることになるので、次回開花するのはだいふ先になりそうです。

（志内利明）



果実。次に会えるのはいつかな？

News 園内ニュース

公式サクラガイドできました

春といえばサクラ!実は、中央植物園には約140種類のサクラがあるのをご存じでしたか?この度、それらを解説する当園公式の「サクラガイド」を発行しました。今回の第1集では、'染井吉野'と同時期、またはそれより早く咲くサクラ46種類を取り上げ、それぞれの特徴や話題を写真と共に紹介しています。実物が見られる場所を示した園内マップも掲載しています。このサクラガイドは、サンライトホールにあるインフォメーションコーナーで1部200円で販売しておりますので、これを片手に園内のサクラめぐりを楽しんでみませんか?また、このガイドで取り上げられたサクラをモチーフに

した「中央植物園イメージポスター」も販売しています(1枚300円)。美しいサクラの写真を集めた大変華やかなポスターに仕上がっています。

なお、3月21日(金)からは、サクラガイドと連動した当園初の屋外型企画展「中央植物園に咲くサクラ①」も開催します(4月13日まで)。この春は'染井吉野'だけでなく多様なサクラをぜひお楽しみ下さい。

(大原隆明)



園内のサクラの見方が変わりますよ

Events 注目イベント

お花見フェア2025

3月21日(金)～4月13日(日)

前号でもご紹介した「お花見フェア2025」を、3月21日(金)から開幕します(4月13日まで)。期間を通じて、企画展「中央植物園に咲くサクラ①」や、「さくら写真のインスタ投稿」などが行われるほか、3月29日(土)・30日(日)には「さくらマルシェ」が開かれます。4月4日(金)～7日(月)には夜間ライトアップを伴う「第14回さくらまつり」、4月12日(土)・13日(日)には呈茶席のほか、天気が良ければ屋外でのコンサートが予定されています。

最新情報はHPをチェックしてね!

(高橋一臣)



第43回「ウチョウラン展」

6月20日(金)～6月22日(日)

ウチョウランは本州の関東以西から九州に分布する球根性のランですが、園芸目的や開発などのため野生ではほぼ無くなってしまいました。ですが、盛んに交配などが行われ、今では野生種よりもはるかに丈夫で華やかなピンクや紫、白、黄緑まで様々な色の花を楽しむことができます。当園では富山県ウチョウラン保存会と共催で、会員の方が育てたウチョウランを約200点展示します。梅雨の時期に咲くかわいらしい花をどうぞお楽しみください。

(吉田めぐみ)



華やかな園芸品種のウチョウラン

Note 園内さんぽ

雪の植物園

この冬は1月ごろまで雪がほとんどなく、楽勝～♪と思っていたのですが、そんな甘い話はないとばかりに2月は大雪に…園内のチリマツは雪をかぶり、氷河期を思わせる光景になりました(行ったことないですが…)。まあしかし、雪かきイヤだと文句ばかり



恐竜のいなくなった世界はこんな感じ?

り言っているだけでも仕方ないので、ちょっと遊んでみることに。園内のまっさらな雪で小さなかまくらを作ってみました。大の大人がひとりで雪遊び?と、お客さんに奇異な目で見られないか、妙な緊張感を覚えながら10分ぐらいで完成。中にぬいぐるみを入れてみるとなかなかいい感じ!みなさんも作ってお気に入りの子とぬい撮りしてみても?冬の植物園ならではの楽しみ方です。

(西村幸芳)



冬眠し損ねたカエルみたいになった…

Event Schedule

※イベント参加には入園料が必要です。高校生以下・70歳以上無料。
 ※日程・内容などが変更になる場合がございます。最新情報はHPでご確認ください。

企画展・特別開園

→ 4 13 (日)	お花見フェア 2025 会場：園内
→ 4 13 (日)	中央植物園に咲くサクラ① 会場：サンライトホール
4 18 (金) → 20 (日)	第43回 ツツジ・シャクナゲ展 会場：サンライトホール
4 25 (金) → 27 (日)	春のサボテン・多肉植物展 会場：サンライトホール
5 3 (土・祝) → 5 (月・祝)	第46回 春のラン展 会場：サンライトホール
5 9 (金) → 28 (水)	第30回 私の植物画展 会場：サンライトホール
5 16 (金) → 18 (日)	第40回 イワチドリ・山野草展 会場：サンライトホール
5 30 (金) → 6 1 (日)	さつき・盆栽展 会場：サンライトホール
6 20 (金) → 22 (日)	第43回 ウチョウラン展 会場：サンライトホール

講演会・講習会・観察会

4 19 (土)・20 (日)	栽培講習会 「シャクナゲの栽培と管理」 会場：サンライトホール 14:00～15:30
5 4 (日)	栽培講習会「ランの育て方と質問会」 会場：ドリアスホール 10:30～12:00・14:00～15:30
5 17 (土)	富山の生物多様性・公開講演会 「はじめての観察フィールド」 会場：研修室 13:00～16:00
5 24 (土)・25 (日)	植物画講習会(2日連続) 会場：管理研修棟 研修室 10:00～16:00 ※要申込
5 25 (日)	植物写真教室「やさしい花の撮り方」 会場：ドリアスホール、園内 13:00～16:00 ※要申込

月例行事

植物ガイド

第1, 2, 4, 5日曜日：ボランティアと歩く植物園
 第3日曜日(4月は第4日曜日)：園長と歩く植物園
 13:30～14:00 集合場所：サンライトホール

その他

緑のコンサート

5|31, 9|20, 10|25, 11|15 13:00～
 会場はサンライトホールまたは屋外(天候によります)
 オックスフォードガーデンパーティー
 6月15日(日) 10:00～16:00

入園案内

[開園時間] 2月～10月 9:00～17:00(入園は16:30まで)
 11月～1月 9:00～16:30(入園は16:00まで)
 [休園日] 毎週木曜日
 4月第1, 2とGW、お盆、祝日の場合は開園
 年末年始(12月28日～1月4日)
 [入園料] 大人630円/団体(20名以上)500円
 冬期(12月～2月)一大人420円/団体340円
 年間パスポート(購入日より1年間有効)2,600円
 高校生以下・70歳以上は通年無料
 [交通案内]
 バス：富山地铁バス JR 富山駅から「ファボーレ経由萩の島循環」
 または「ファボーレ経由速星行き(休日のみ)」に乗りし、
 「中央植物園口」下車、徒歩約12分(約700m)
 車：富山市中心部より約15分
 北陸自動車道富山ICより約15分
 JR 速星駅より約8分

友の会 会員募集

[特典] ①友の会会員証で無料入園
 ②月例会や植物観察ツアーなど会員限定行事への参加
 ③「友の会会報」と「植物園だより」を年4回お届け
 ④メールで最新情報をお届け
 ⑤印刷物やグッズの割引価格購入
 ⑥部会活動への参加
 [年会費] ※有効期限は入会日から翌年3月31日まで
 一般会員/2,800円
 シルバー会員/1,500円(4月1日時点で70歳以上の方)
 ジュニア会員/500円(4月1日時点で高校生以下の方)
 賛助会員/20,000円(団体) 1,500円(個人)
 [入会のお申込み]
 入園口で直接、もしくは専用郵便振替用紙にて郵便局でお手続き
 ください。詳しくはホームページをご覧ください。

富山県中央植物園だより No.115

令和7(2025)年3月25日発行
 編集・発行/富山県中央植物園
 (指定管理者：公益財団法人 花と緑の銀行)
 〒939-2713 富山市婦中町上轡田42 TEL 076-466-4187



公式 HP



公式 Instagram



植物多様性
保全拠点園



JAPAN
MUSEUM
富山植物園